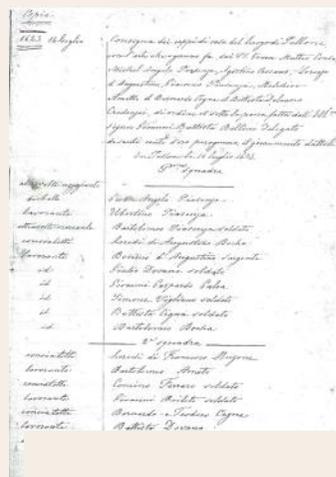
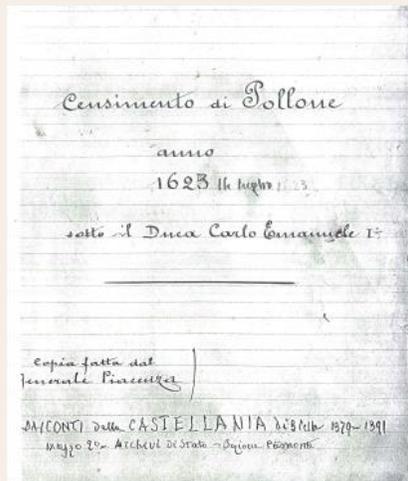


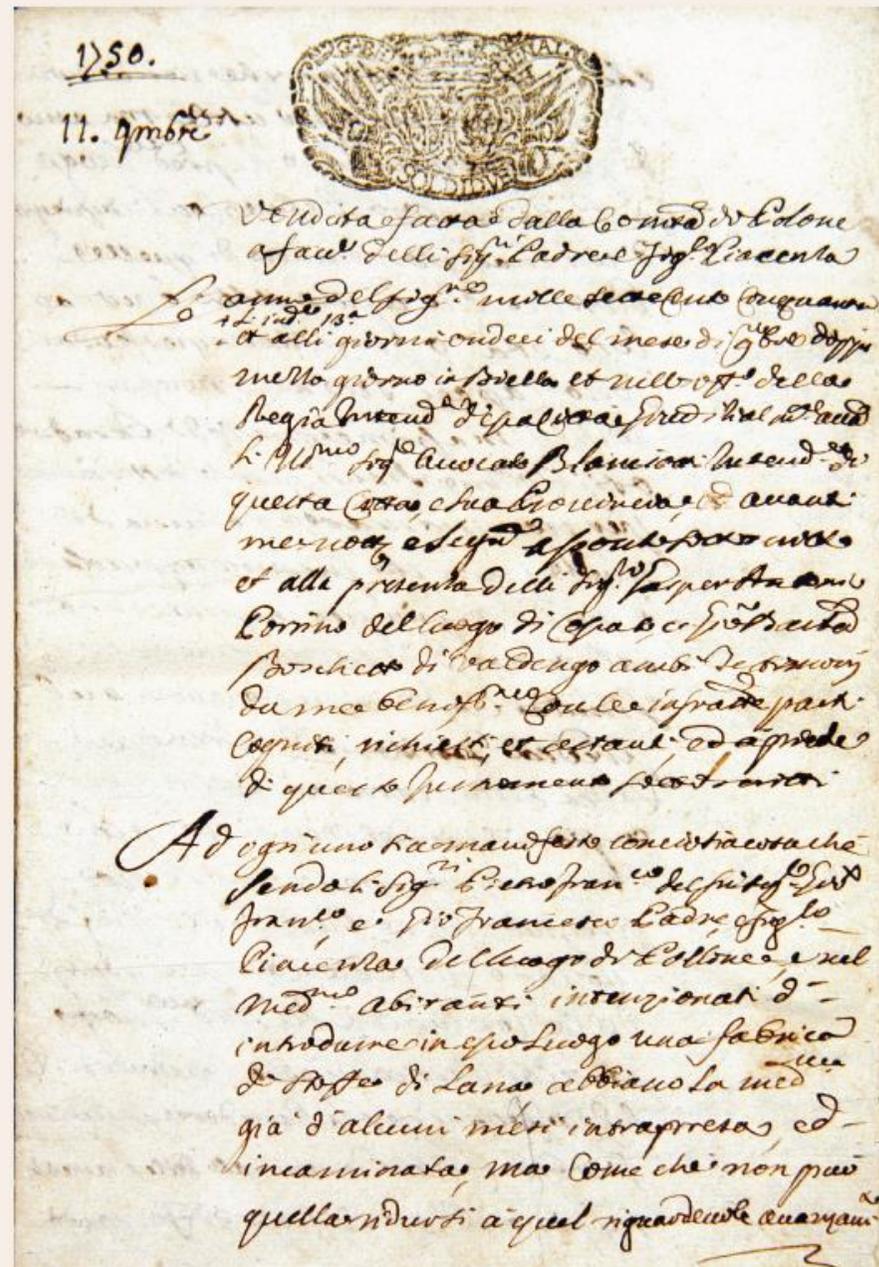


PIACENZA
CASHMERE

私たちのレガシー



ピアチェンツァ社は1623年の設立から今日まで、同一家族が所有かつ経営を行い、世界最古の織元です。



私たちのレガシー



1623 年

毛織物商



18世紀

冒険の始まり



19世紀

近代化
& 広告活動の幕開き



20世紀

海外市場



1930年以降

オートクチュール &
ファッション



1990年

ピアチェンツァ・カシミア
— ラグジャリー・
ガーメント誕生



今日

13代および14代目による経営

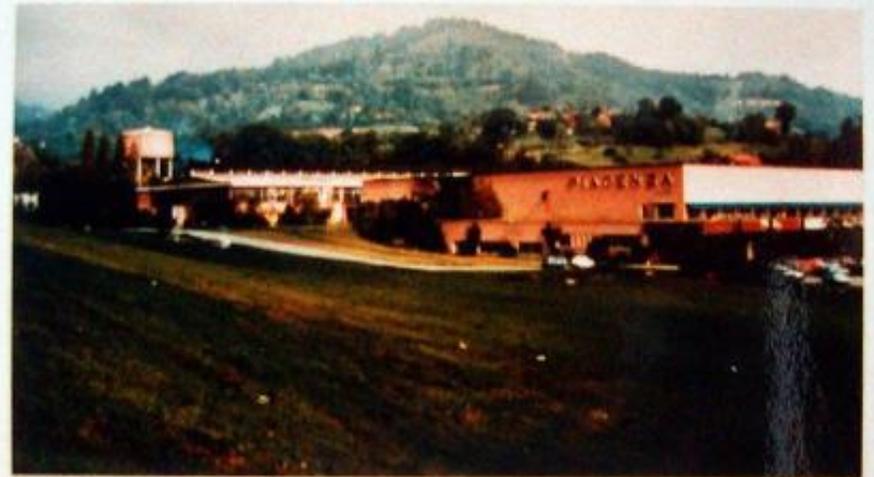
私たちのレガシ

1966-67年、ガイド&リッカルド・ピア
チェンツァピアチェンツァ社の当時日本
のエージェント Katsuro と Furukawa



フラテッリ・ピアチェンツァ FRATELLI PIACENZA S.P.A.

- 毛織物製造
- Woolen cloth production
- 創立 1733年 イタリア
- Established 1733 Italy

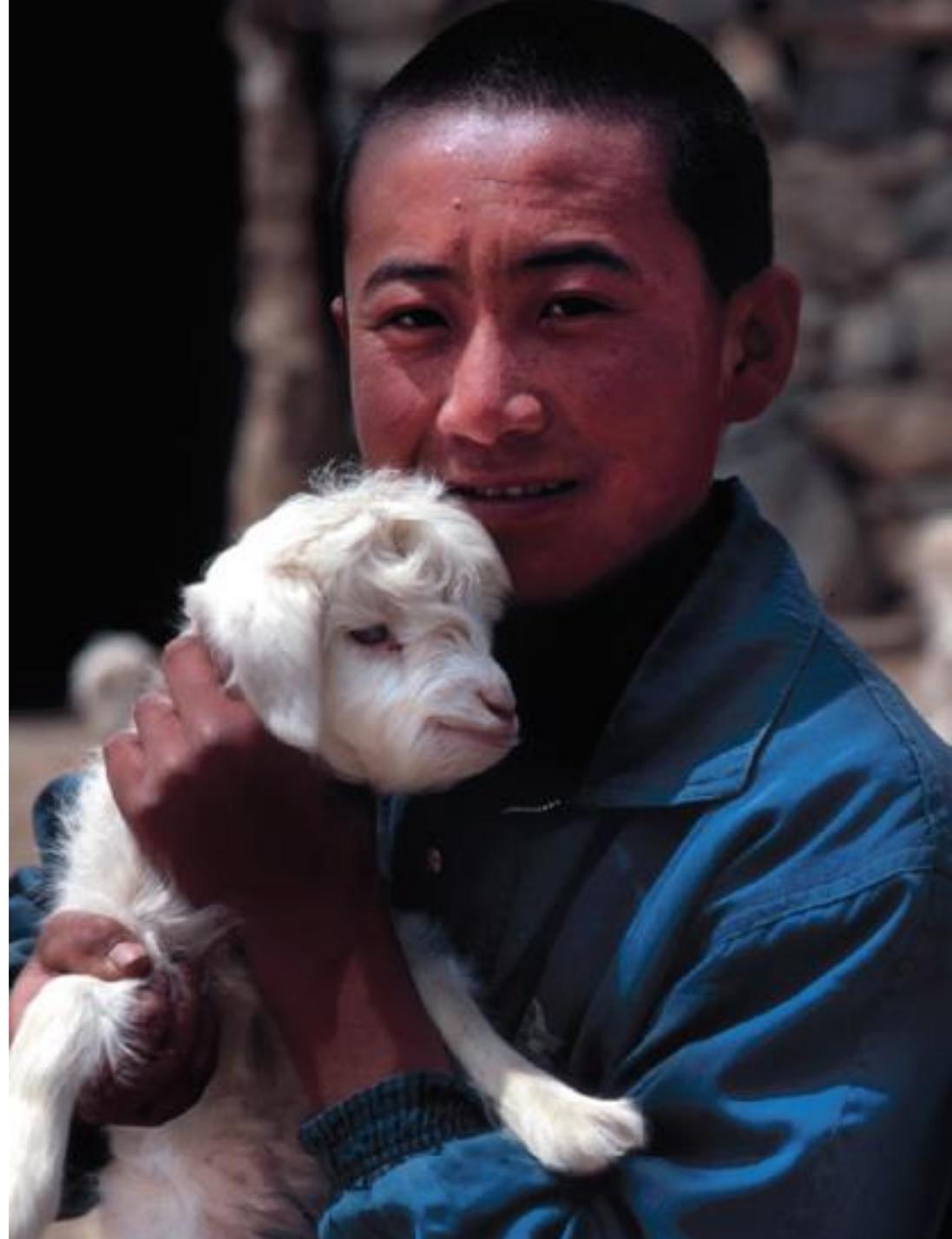


創業以来、アザミを使ってケバ出し仕上げを行っている高級毛織物一筋のピアチェンツァ。世代から世代へ『伝統』の旗を上げ続けていくために、次の世代へどう渡していくかを考えるのが代々の当主の責任となっています。

Piacenza has been dedicated to making the finest napped fabrics using thistle ever since the company was established. It is the responsibility of the family head to decide how to pass the flag of tradition along and keep it flying in the next generation.

アラシャン産カシミヤ

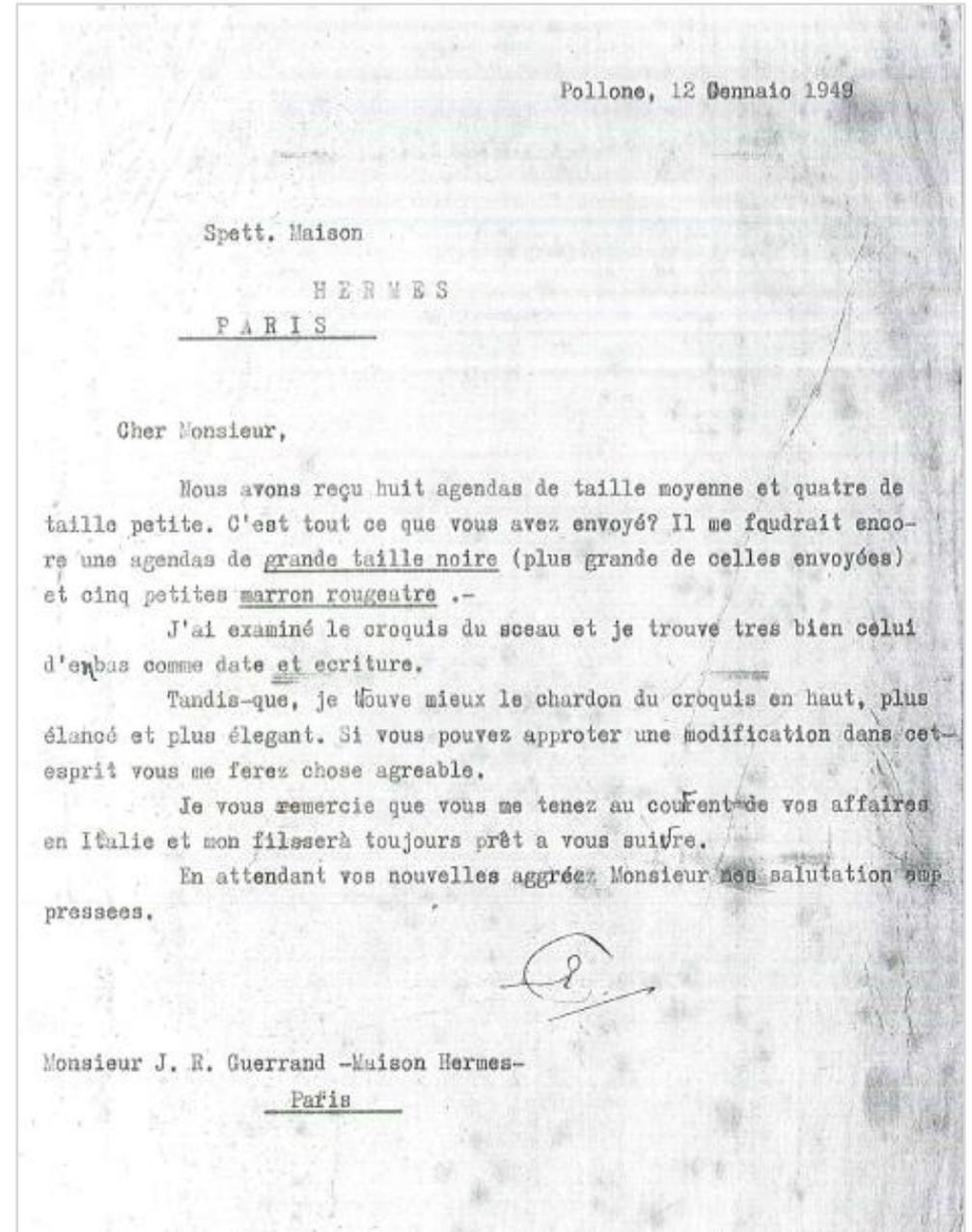
1913年、ヒマラヤ遠征の機会に、マリオは海拔5500メートル地点にあるドゥルン・ドゥン氷河ベースキャンプでシェルパたちが身に着けていた生地がソフトで温かいことに気がつきます。



アザミの花

私たちのシンボル.. エルメスの提案

第2次世界大戦後、ヘルメスの創始者の一人、ジェローム・ゲラン氏から特別な提案を受けてピアチェンツァ社のロゴを開発。アザミの花は、製造の一工程のみならず、同社全体のカンパニー・イメージとなりました。



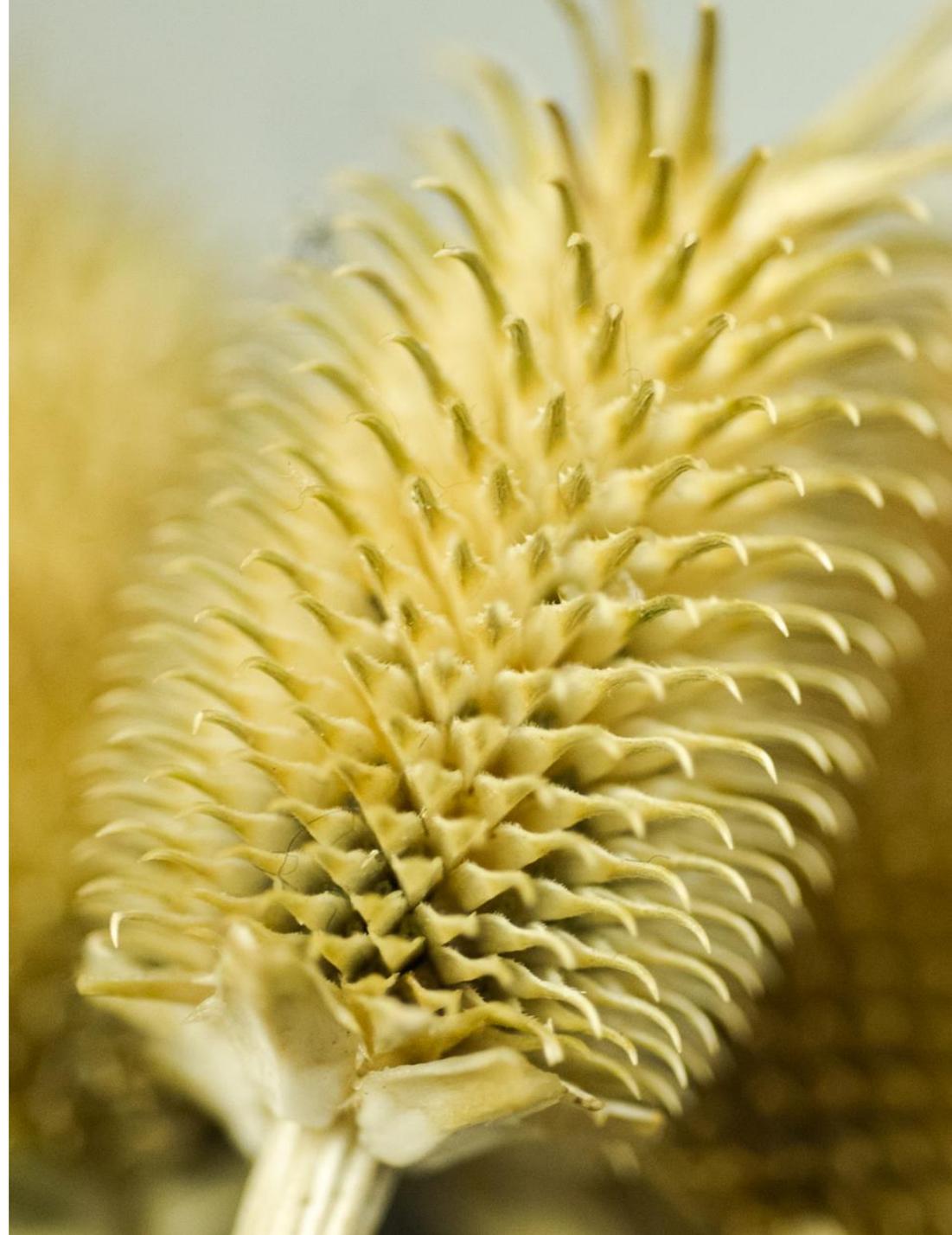
アザミの花

重要な製造工程である起毛作業の鍵をにぎるのがこの花ですが、これを探し、適当な数を集め、使用可能となる適度な乾燥を与えることは非常に困難です。が、未だにその使用を継続しています。

これらに加えて、機械作業の舞台裏で世代から世代へと引き継がれてきた職人たちの技も欠かせません。

アザミの花

- 天然素材によるファブリックが持つ表情を強調
- 独特で他にはない手触りを生む。
- 天然素材を用いた技術は金属製工具に用いたものに比べてよりソフト。



サステナビリティ

何世紀にも渡り、特に14世代にもおよぶ世代を越えた指針の下に、私たちは環境への影響を削減し、地球環境を保護し、人々の暮らしに注意を払うという大望を込めた計画を作成し、サステナビリティ活動に取り組んでいます。





PIACENZA
CASHMERE